

(別記様式第3号)

普及活動検討会実施報告書

栗原農業改良普及センター

実施月日：令和7年2月4日

実施場所：栗原合同庁舎

1 検討内容

No.	検 討 項 目
1	令和7年度普及指導方針及び普及指導計画全体像について
2	プロジェクト課題の令和6年度実績と令和7年度計画について

2 検討委員の構成

(単位：人)

区 分	人数	区 分	人数
先進的な農業者	1	生 活 者	1
若手・女性農業者	1	学識経験者	1
市 町 村	1	マスコミ	
農業関係団体	1	民間企業	

3 委員の評価と普及センターとしての対応方向

検討項目	評価値 平均値	評価結果（コメント、評価表の要約）	普及センターとしての対応方向
No. 1 について	4. 3	・地域の現状が把握できていて、それを解決するための方針、細かな活動が書かれており、丁寧に検討された普及指導計画と思う。 ・重点活動4項目や一般活動21項目について、各々のキーマンとなる担い手の支援等を、市農政やJA営農支援と協力して着実に推進することを期待する。 ・当地区の販売農家数は年々減少している。地域の核となる経営体の支援は今後重要となるので、重点的に普及指導する着眼点は良い。ただし、儲かる農業に結び付くような側面も必要。また、高齢者、女性農業者でもできる、少ない面積、機械・設備が簡易的に栽培できる園芸品目の検討もして頂きたい。	・地域や農業者が抱えている課題の把握に努めながら、地域農業の持続的な維持・発展には地域の核となる経営体の育成に加え、新規就農者の確保育成や女性農業者の活躍支援などが重要であることから、今後も引き続き農業者や関係機関・団体等と連携して普及活動に取り組んで参ります。 ・省力・低コスト技術の導入、地域の特色を活かした品目の生産拡大など、農業経営の安定化を支援して参ります。

No. 2 について	4. 4	(全体) ・プロジェクト活動の3項目について、計画に基づいて活動しており、経過を踏まえ適切な指導、支援がなされている。加工用たまねぎや大豆の作物は気象条件によっては適期の作業等ができず、収量や品質にも影響し、なかなか目標に届かないのも仕方がない。 ・令和6年度の実績は目標達成に向け進んでいること、令和7年度の計画は、前年度からの継続事業となっており一貫性があることから評価したい。 ・令和6年度の実績ではさまざまな現状・課題が浮き彫りになった。令和7年度はその課題解決に向け取り組むことになるが、計画の最終年となる2課題については、短期間で結果は出ないと思われ、目標達成に近づけるよう農業者や地域へ支援するとともに、課題終了後のアフターフォローもお願いしたい。 (1) 加工用たまねぎの直播栽培技術の確立による収量確保 ・設備投資しながら規模のメリットで収益確保していく畑作野菜の生産・経営体制確立へ向けた取組を、管内や県内の多くの水田経営者等が見守っている。引き続き着実な取組を期待したい。 (2) 金成有壁地区の活性化ビジョンの実現 ・法人設立検討委員とともに検討を積み重ね、地域住民や歴史ある魅力的な酒造会社との良き連携のもと、持続発展できる法人の事業目論見書が着実に検討されることを期待したい。 ・金成有壁地区は、法人設立後も関係する農家の高齢化が進んでいくことから、新たな課題も出てくると思われ、継続した支援が必要。 (3) 土地利用型経営体の大豆多収穫技術の体系構築による単収の向上 ・栗原管内のみならず県内の大豆生産者や、支援にあたる普及、JA営農支援等の担当にもぜひ参考として頂きたい取組である。最終年度の成果目標の達成とともに、効果的な成果波及が早期に行われることを期待したい。	・各プロジェクト課題とも、令和6年度の活動で残された課題を明確にし、令和7年度の活動につなげ、関係機関やチーム員と情報を共有した上で、着実に活動を行って参ります。また、プロジェクト活動の成果は横展開を図り、地域全体の課題解決につなげて参ります。 ・露地園芸作物や大豆の推進では、毎年の作の振り返りにおいて気象状況や作柄なども踏まえながら、排水対策や品種・作型の見直しなどの検討を支援していきます。また、試験研究機関等と連携し、安定生産に向け支援して参ります。
------------	------	--	--

その他		・「儲かる農業！」であれば、農業から離れる人もなく、農地も荒れず、豊かになると思う。これからの栗原の農業の技術・向上の指導、支援を願う。 ・気候の温暖化により、園芸、果樹品目の作付適地が北上していると思われる。今後 5 年を見据えて栗原地域でも 1 品目売上が 1 千万円以上になるような作物の紹介・検討を願う。	・いただいた御意見等につきましては、普及活動を実施する際に意識して取り組んで参ります。 ・普及センターでは、経営体の技術と経営の改善に向けた活動に取り組んでおりますが、一層、農産物の出口（販売）戦略も意識した普及指導活動を行い、農業経営の改善・発展を支援して参ります。
-----	--	---	---

※：検討項目数に応じて欄を追加し記載する。